



**AF-S NIKKOR 105mm f/1.4E ED**  
価格25万9200円

このふんわりとしたボケと芯のある描写で写されたカワイイ写真はこのレンズとD850さえ用意すればいつだって撮影できるのですよ、そのお父さんお母さんおじいさまおばあさま。  
ええ、背景はカインズホームが一番安かったクッションパネルですが、そんなことはまるで感じさせないふんわりボケ味、美しくないもの、ふさわしくないものを緩やかにボかし、見せたいモノにシャープにフォーカスするこのレンズ。良い写真が撮れますよ。



シャッター速度1/500秒  
絞り F1.4  
撮影感度ISO1600  
露出補正+0.7補正



シャッター速度 1/1600秒  
絞り F5.6  
撮影感度ISO400  
露出補正+0.3補正

**AF-S NIKKOR 24-70mm f/2.8E ED VR**  
オープン価格(実勢28万円前後)

ニュース報道ドキュメンタリーを撮らせたらやっぱりニコンには敵うまいと思うのですよ、個人的に押し強さ、シャッターのキレ、絶対的に写して帰るといふ安心感、どの点でもD850とAF-S NIKKOR 24-70mm f/2.8E ED VRの組み合わせは確実に写真を撮るという任務をこなしてくれそうであり、ふたつ合わせて2キロ越えの質量とそれなりの金額も撮影者の覚悟が問われます。あとは己の体力と財力次第。

まだまだ余裕画質。常用撮影感度ISO25600と4575万画素の有効記録画素数の組み合わせの前には恐れる被写体は無いですね。とりあえずプラさずに撮っておけばあとでトリミング可能であります。



暗めの室内格闘技で撮影感度はISO12800。これまでであればトリミングは諦めるシーンですが……。

世界よこれがニコンのデジカメだ!

こ  
ん  
な  
寫  
眞  
に  
變  
を  
す  
る

# 電子寫眞機戀愛

最強、最良、最高画質。ニコン創立100周年に相応しいフルサイズデジ一眼 D850 誕生!

第三十夜

**軽**量コンパクトで気軽にインスタ映えする写真が撮れて、操作性に優れていて仲間と写真を見てワイワイやれるようなデジタルエフェクト効果も簡単なミラーレスカメラでついでに言う则可愛いヤツ……をお望みの方はもうこれより先は読まずに結構です。

重量級フルサイズで重々しくドキュメンタリー映える写真を撮れて、プロ級の腕前を撮影者に望む操作感覚で、仲間とつるまずに淡々と撮影にいそしめる。願わくばイカツイやつ……をお求めのやる気のある方おまたせしました。

2012年に発売された高画素機D800の直系として進化した今回のD850は有効画素数4575万画素に大幅に画素数を増やし、裏面照射型CMOSセンサーのフルサイズFXフォーマットをニコンの画像処理エンジンEXPEED5が迅速かつ精細ならびに高感度でもノイズレスに処理して常用撮影感度はISO64からISO25600まで幅広く撮影可能になりました。

また高画素化してもパワフルなボディは約7コマ/秒の連続高速撮影を可能とし、フラッグシップ機であるD5と同等のAFシステムを搭載し、153点ものAF測距点で高速なオートフォーカスを実現しております。D5ゆずりはAF性能だけではありません、マグネシウム合金製のボディ各部には高い防塵・防滴性能を発揮するシーリング処理がほどこされ堅牢強固かつ悪天候下でも安心して撮影に専念することができるのです。ただし、年齢40をすぎるとめっきり無理がきかなくなるので撮影者のほうも雨風などで風邪などひかぬようくれぐれもお自愛くださいませ。

さらにボディ各部を詳しくみてみましょう。記録メディアはSDカードとXQDカードが挿入できるダブルスロットでございます。液晶モニターはフィクストだったD810から3軸ヒンジ構造のチルト機能が加わりました。また、3.2型の約236万ドットのタッチパネルでメニュー設定などタッチ機能も充実。

そして一眼レフといえばファインダーが一番大切な撮影機能。D850ではD810よりもさらに進化させ、フラッグシップ機種D5の0.72倍よりも拡大率に優れた

0.75倍を達成。これによりクリアな視野とピントの山の掴みやすさで一眼レフ中最高クラスのファインダーを備えております。最高クラスのオートフォーカス性能を備えていながらマニュアル撮影もモチモチというの一眼レフならではの贅沢なのでございます。

また細かい部分ではオートホワイトバランスに「自然光オート」が加わりました。これは自然光のみの波長内に制御を限定することでオートホワイトバランスの精度を高め、より自然な風味を残した絵造りが可能になっているのです。たとえば夕日や朝焼けでは完全に赤みを打ち消さず、ほどよく残すことによって見た目と撮影画像とに違和感を感じない仕上がりになるのです。ほかにも別売りのフィルムデジタイズアダプター<sup>\*</sup>とMicro NIKKOR 60mm f/2.8G EDを使用してネガフィルムを自動的に反転しデジタルデータにできる機能も備えている。これまでの人生の記録をデジタルデータ化したかったヒトにはまさにぴったり。

さあそれではこのド級デジ一眼にぴったりの交換レンズを選ぼうじゃありませんか。

当然普通クラス、いわゆるスタンダードな普及レンズじゃいけません。標準ズームならAF-S NIKKOR 24-70mm f/2.8E ED VR一択ですね。ナノクリスタルコートを採用し、高い解像感と自然で柔らかなボケ味、そしてシャッター速度にして約4段分の手ブレ補正VR機能を搭載。ED非球面レンズに高屈折率レンズなど最先端の光学技術を奢られたニコン最強の標準ズームレンズでございます。

そして中望遠レンズの決定版AF-S NIKKOR 105mm f/1.4E EDはいかがでしょう?

あくまでピンッとシャープなフォーカス部分からならだかに溶けてゆく美しいボケ味、モチーフの立体感を自然に描写できる大口径中望遠単焦点レンズでございます。絞り開放からシャープな解像力は3枚のEDレンズによるキレ味と色にじみを効果的に低減する設計の賜物。このNIKKOR伝統と言える105mmの焦点距離。そして世界で初めて105mm F1.4でオートフォーカスを可能とした技術力。このうっとりするほどの描写性能を実用とするにはこのD850クラスの強力な一眼レフ機が必要となるのです。

ニコン史上最高画素数4575万画素で、あなた史上最高傑作をどうぞ。

<sup>\*</sup>フィルムデジタイズアダプターの発売時期は未定。



写真と文 織本知之  
いえね、ムスメもこのごろ乳児から乳幼児に表情の変化を経てこれがまたカワイイのでございまして……の親バカ全開なんです、そのカワイイ表情を撮るのがついついスママで……という親猫さんも多いかと思えます。しかし、いつだって手元にあり、その撮影力も侮れない美力な人ですが、やはり成長の空気感のないものは、一眼レフでじっくり撮ってあげるのもバカな親の使命かと。オススメです。D850。

# ニコン D850



裏面照射型CMOSセンサー  
画像処理エンジンEXPEED5搭載  
低輝度測光・3EV対応、180KピクセルRGBセンサー搭載  
有効画素数4575万画素  
ISO 64-25600 高速連続撮影約9コマ/秒  
サイレント撮影モード搭載  
ボディ幅約146×高さ124×厚み78.5mm  
オープン価格(実勢約40万円前後)  
©ニコンカスタマーサポートセンター ☎0570-02-8000

常識はずれの大口徑中望遠にも胸キュン!

これまで充分明るい中望遠とわられてきた「Ai AF DC Nikkor 105mm F2D」よりさらに一段も明るくなった「AF-S NIKKOR 105mm f/1.4E ED」。ニコンらしい105ミリという焦点距離を保ちながら開放F値をf1.4としたニコンの意欲作! フィルター径はなんと82ミリ! 質量も約985gの横綱レンズですが、描写力も横綱級です。



ニコンのフルサイズにぞっこんLove!

どんなもんです、ニコン最大画質4575万画素FXフォーマットのフルサイズセンサーが大きく口を開けたボディ前面のこの迫力。幅146mm、高さ124mm、厚さ78.5mmのボディは大きく、大型の大口徑レンズと組み合わせることにより手に馴染むサイズ感。ただし、堅牢強固なマグネシウム合金ボディは単体で約1005gと1キロ越えの堂々ボディ。